



妖怪マガジン『怪』と怪談専門誌『幽』が劇的に合体！！  
 すべてのお化け好きに贈る、エンターテインメントマガジン

## 怪と幽

妖怪マガジン『怪』と怪談専門誌『幽』。似て非なる両誌のブランドを受け継ぎ、『怪』に名を連ねる錚々たる研究者による論考やエッセイと、『幽』の豪華な執筆陣の連載が一度に楽しめる雑誌です。妖怪探訪や研究会レポートを主軸にした「怪パート」、小説や怪談実話をはじめとする「幽パート」のほか、特集では新雑誌ならではの切り口で組んでゆき、すべてのお化け好きに贈る、エンターテインメントマガジンを目指しています。

### <料金表> 入稿日(完全データ入稿)：発売日25日前

広告 スペース	原稿サイズ 天地×左右(ミリ)	印刷	料金 (税抜)
表4	165×138	4Cオフ	500,000円
表3	210×148	4Cオフ	300,000円
中面	210×148	1Cオフ	150,000円

### <媒体データ>

【発売日】年3回(4月、8月、12月)  
 【予価】1800円(税別) 【判型】A5判  
 【創刊】2019年4月24日  
 【想定男女比】男性40%：女性60%  
 【発行部数】20,000部

## ■Vol.007 2021年4月27日(火)発売号ご案内

**民話**——昔話、伝説、世間話といった口碑伝承は、いまでも私たちの生活に息づいている。誰もが知る「桃太郎」には様々なヴァージョンの類話が存在し、それらは近世以降、徐々に現在の「話」に一本化されてゆきました。明治から昭和にかけて、柳田國男をはじめとする民俗学者たちが聴き集めた「話」。昭和50年代に興った「民話ブーム」。そしてネット社会の現代でも「話」は常に生まれ続けている。時代よって変化を遂げながら脈々と受け継がれる民話は、愛おしき化物たちのふるさと(名産地)でもある。お化け好きをとりこにする民話の世界へ！ 強力な連載陣もお見逃しなく。「巷説百物語」シリーズ最終編が始動！

「怪と幽」編集長 似田貝大介

## 【特集】 民話が好き！ (仮)

【対談】 京極夏彦×黒史郎「民話の中に隠れているお化けたち」

【インタビュー】 板倉俊之(インパルス)「童話小説『鬼の御伽』について」

【寄稿】 花部英雄「伝承文学とは何か？」

【寄稿】 間宮史子「世界の民話、日本の民話」

【寄稿】 徳田和夫「御伽草子から民話へ」

【寄稿】 飯倉義之「漫画に生きる民話」

【寄稿】 廣田龍平「ネット時代の口碑伝承」

【寄稿ガイド】 伊藤慎吾「民話の変遷と主要書籍」

◆連載【小説】 京極夏彦／小野不由美／有栖川有栖／

近藤史恵／山白朝子／恒川光太郎／澤村伊智

【漫画】 諸星大二郎／高橋葉介／押切蓮介／波津彬子

【論考・エッセイ】 荒俣宏／小松和夫／東雅夫／加門七海／村上健司&多田克己

【グラビア】 嘉村ギミ／芳賀日出男／佐藤健寿／新作能「アマビエ」／怪食巡礼

【怪談実話】 中山市朗／我妻俊樹／春南灯

◇お化け友の会広場◇ 大倉流小鼓方・上田敦史／志村真幸／北陸怪談研究会／弘前乃怪／妖怪朗読家ゆうか

※企画内容は変更になる可能性があります。